

ケアマネみやざき

一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.17
平成28年7月7日発行
発行責任者
担当理事 坂口 和幸

「会長挨拶」

平成20年6月創立されました本協会は、平成22年4月12日一般社団法人として新たな組織化を図り、平成26年3月には3層構造構築の御承認をいただき、会員の皆様方の御一人おひとりの御理解のもと、全国の県協会の中でもJCMAや厚労省が一目置くほど、順調な事業活動を継続できております。さて、介護保険に関する審議は主に「社会保障審議会介護給付費分科会等」で行われますが、すでに平成30年の介護保険法改正に向けての議論が始まっています。注目されているのは、「保険者機能の強化と地域の実情に応じたサービスの推進」、「ケアマネジメントのあり方」の2点です。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷 義秀

現在、介護保険サービスは24種類52サービスあり、さらに地域のサービスが存在します。コーディネーター役のケアマネジャーの業務は、制度が変わるたびに、その対応に時間と労力がかかり、負担が増すばかりです。地域支援事業の任意事業に位置付けられている「適正化主要5事業」のうちケアプラン点検についても「都道府県や市町村と介護支援専門員協会が協力して、専門的な視点でケアプラン点検を行うことで実行可能で有効な対策」と考えます。居宅介護支援事業所の指定権限の委譲につきましても、これまで都道府県によって指導内容に違いがあったり、それぞれの解釈や考え方によって指導が異なると、保険者をまたいで支援を行う居宅介護支援は業務に混乱をきたした事例がありました。ますますの混乱が懸念される中、県レベルでの見解統一は大きな課題ですので、本協会は県行政をはじめ各関係機関と綿密な連携を行い、国・市町村保険者が統一した見解を示し、地域ケアマネジャーの業務に支障がないようにすでに取り組んでおります。

一方、「ケアマネジメントのあり方」については、①自立支援、公正中立、総合的かつ効率的なサービス提供の視点に基づく適切なケアマネジメントを確保するための方策、②保険者としての市町村の関わり、③医療介護等の連携のためにケアマネジメントにおける専門職種の有機的な連携、④給付管理や書類作成等の業務負担も踏まえたケアマネジャーの業務のあり方などが議論されています。

本協会は厚労省や県行政、他の職能団体の皆さまとも極めて友好的な関係を堅持できておりますが、4月22日の厚労省社会保障審議会介護保険部会で本協会が取り組んでいるケアマネナビゲーターによる巡回相談・助言指導制度を「ケアマネジメントのあり方」を視野に入れた地域の取り組みとして高く評価して紹介いただいております。ケアマネジャーに対するスーパーバイズ機能の実績を踏まえ、助成支援の継続を県にお願いしております。さらに県内では各市町村レベルで地域ケアマネ団体の支部化が本格化しており、地域ブロックネットワーク活動も活発化してきています。3層構造の構築をより前に進め、皆さま方のご意見を集約して国に伝えて参ります。最後になりますが会員皆様方の御健勝を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

(平成28年6月5日開催 宮崎県介護支援専門員協会総会 会長挨拶より抜粋)

平成28年度宮崎県介護支援専門員協会 総会 研修会報告

平成28年6月5日（日）にMR T m i c cダイヤモンドホールにて、平成28年度宮崎県介護支援専門員協会 総会、研修会を開催いたしました。

総会では、平成27年度事業報告と収支決算報告と役員選出について協議され、会員の皆様の承認を得て、すべての議案が可決されたことをご報告いたします。

研修につきましては、下の欄で報告いたします。

ランチオンセミナー

熊本市民病院の主席診療部長・神経内科部長の橋本洋一郎先生をお招きし「高齢者や神経疾患患者における不眠症の治療」と題してご講演いただきました。

先生は、まず脳卒中予防のために積極的に禁煙活動の推進を訴えられ、全国禁煙推進研究会の紹介もいただきました。不眠症治療に関しては、睡眠薬の使い分けの必要性を分かりやすくご説明いただくと共に、起床時間が長いほど睡眠欲求が高まる睡眠制限療法の重要性（寝ない努力）の必要性をお話いただきセミナー終了となりました。



熊本市民病院 主席診療部長
橋本 洋一郎 先生

シンポジウム

午後からは『若年性レビー小体型認知症の夫とともに生きて』と題し「認知症おうちカフェ★キラリ会」代表である金子節子様による講演が行われました。

認知症介護の金子家の日常をふまえ、介護支援専門員として、また専門職として、いのちが歓ぶ生き方（逝き方）と向き合える関わりを持ってほしいとのことでした。

介護支援専門員として関わり方を見つめ直すことができるととても良い機会となりました。

最後は、R e L i f e 笑顔いっぱい(^o^)という言葉で講演を締めくくられました。



認知症おうちカフェ★キラリ会
代表 金子 節子 様

今回の研修会すべてにおいて、エーザイ株式会社様に共催として多大なるご協力をいただき盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございました。



新役員紹介

平成28年度総会での承認を得て、平成28年から2年間の各役員が決定いたしましたので、各役員の紹介をいたします。



副会長
大峯 伸一

引き続き副会長をさせていただきます。課題は多いですが皆様と一緒に一つずつ解決していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



副会長
長友 あかね

医療現場の立場から、医療と介護の更なる連携強化と組織力強化を図るため力を尽くしたいと思います。2年間よろしくお願い致します。



総合支援部
今吉 美和子

会員さんが相談しやすい窓口の設置と施設、ひとりケアマネジャーの研修企画支援を行います。よろしくお願い致します。



資質向上事業部
川崎 智志

2016年新カリキュラム法定研修がスタート！ケアマネジメントの平準化を図るとともに更なる資質向上を目的とした法定研修を開催していきます。



介護保険部
児浪 俊之

会員の皆様お一人お一人が専門性をいかんなく発揮でき、少しでも働きやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。宜しくお願いいたします。



広報渉外部
坂口 和幸

一人でも多くの介護支援専門員の方に県協会の仲間として一緒に活動していただけるよう、多くの情報を提供していきます。



研修部
谷口 竜太

今年度、研修部理事をさせていただきます谷口竜太と申します。研修委員と協力して研修企画してまいります。よろしくお願い致します。



日向・東臼杵ブロック
黒田 文代

介護支援専門員に向けられる目は厳しくなるばかりですが、その働きを認めていただくことができるよう、微力ですが頑張ります。



西都・児湯ブロック
緒方 清孝

今期より、西都・児湯ブロック理事を務めることになりました緒方です。ケアマネの資質向上、連携強化のため一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



宮崎・東諸県ブロック
大石 美香

大きな力（質）は、まず小さな所からまとまっていく事が堅実だと感じています。そういうブロック活動・研修を目指して委員の方々と一緒に頑張ります。



都城・北諸県ブロック
大浦 栄子

都城・北諸県ブロック理事の大浦栄子です。委員の皆様と協力し、任務を遂行して参ります。よろしくお願い致します。



小林・えびの・西諸県ブロック
清水 つゆ子

「ひとつひとつ頑張れ日本」が口癖でございます。小林・高原の支部化に向けて「みんなできばっど」をスローガンに頑張ります。



延岡・西臼杵ブロック
澤野 みすず

県協会と延岡・西臼杵ブロックの橋渡し役として地域会員の皆様の声をしっかりと伝える事ができるよう、微力ですが頑張ります。



日南・串間ブロック
木村 正子

他の役員の皆様へ、ご指導いただき協会活動に参加できればと考えております。よろしくお願い致します。



事務局長
岡崎 浩司

会員の皆様が専門職として高いステージで恒久的に活躍していただけるよう、基盤整備を行って参ります。よろしくお願い致します。



中島紫織監事

皆様の会費や、委託事業に対する補助金など、当会は決して少なくない予算が毎年組まれています。適正に運用されるよう努めて参ります。



野津原裕監事

公正かつ誠実な業務を行っている会員による組織ですので、住民目線の期待も込め、偏りのない厳正な監査をしていきたいと思っております。



野崎藤子顧問

高齢社会において在宅医療と介護の連携は皆様のお力なしでは進みません。「地域包括ケアシステム」を担う職能団体としてお役に立てればと思います。



嶋田喜代子顧問

皆さん、共に力を合わせて利用者の立場に立った支援をしていきましょう。

県協会事務局紹介

今回は、事務局が日頃行っている業務をご紹介します。事務局の仕事には、会員管理、会計業務、庶務があります。

会員管理は主に入退会管理や会員の登録情報を基にし、研修案内や広報誌などの郵便物の管理を行います。会計業務は、協会全てに係るお金の管理です。年間の予算・決算の管理も行います。庶務業務には各部会や委員会のサポート、各研修会の会場選定、講師との打合せ、会員からの問い合わせ対応など幅広い業務を行っています。このように、県協会事務局では会員の皆様の活動をサポートする非常に重要な役割を担っています。



長友さん 岡崎事務局長 高尾さん
井上さん 小島さん

研修会などで気軽に声掛けしてくださいね。

熊本地震災害ボランティア活動報告

皆さまご存知のように今回の熊本地震に際し、日本介護支援専門員協会は様々な支援を行っていますが、その一環で宮崎県協会に派遣依頼がありました「現地対策室コーディネーター」として去る5月15日の夕から、20日の夕まで現地に赴きました。具体的には、全国から応募のあったボランティアの皆さんに、益城町での全戸訪問による高齢者実態把握調査などといった活動を行って頂くのですが、それが円滑にいくよう、日程の把握から当日の役割分担、活動内容の整理や現地の地域包括との交渉などを行いました。

被災の実態として、家屋の崩壊は直視できないほどひどく、多くの方が暮らしの拠点である住まいを失い、本来の町機能として復興するのにどれだけの時間を要するのか、想像すらできない現状に言葉がありませんでした。それまで当たり前と思っていた機能を突然失い、絶望の中、それでも暮らしを営む為には前に進むしかありません。予測が出来ないことが起きた後の対処が如何に大変か今回の活動を通し痛感しました。

介護支援専門員として何ができるのか、混乱をできるだけ早く收拾し、その時に必要なことを明確にし、的確に支援へと繋げていくには、組織として日頃からの継続的な検証が不可欠だと思います。今回の災害からの教訓を無駄にしないために、当協会にも、早々に委員会を設置し、いざという時最少の混乱と最大の効果が発揮できるよう皆さまと一緒に協議していきたいと思います。今後ともご支援宜しくお願い致します。

宮崎県介護支援専門員協会 副会長 大峯 伸一

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成28年7月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク	正会員	準会員
宮崎・東諸県	631	12
小林・えびの・西諸	113	0
西都・児湯	95	0
日南・串間	133	1
都城・北諸県	206	3
日向・東臼杵	136	0
延岡・西臼杵	158	0
合計	1,472	16

各ブロックごとで支部化に向けての動きも活発になっています。各ブロック研修会などで非会員の方がいらっしゃれば、是非県協会への加入をおすすめください。会員の皆様のご協力よろしくお願いたします。